

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23015

学校名：栄西小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析	
体力・運動能力 ＜男子＞	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・握力、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び ○前回の記録より下回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、ソフトボール投げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均との比較（特徴が顕著な項目のみ表示） <ul style="list-style-type: none"> ・握力⇒上回っている。 ・20mシャトルラン、ソフトボール投げ⇒下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の記録、全国平均と比べ、20m シャトルランが大きく下回っている。また、上体起こしも下回っているため、運動特性である全身持久力や粘り強さに明らかな課題がある。課題解決のために継続して跳び続ける縄跳び運動などをより多く取り入れていく必要がある。
体力・運動能力 ＜女子＞	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・握力、長座体前屈 ○前回の記録より下回った種目 <ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均との比較（特徴が顕著な項目のみ表示） <ul style="list-style-type: none"> ・握力⇒上回っている。 ・20m シャトルラン⇒下回っている 	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の記録と全国平均と比べ、上体起こし、20m シャトルラン、50m走、ソフトボール投げの4種目で記録が下回っている。男子と同様に持久力と粘り強さに課題がある。また、力強さにも課題があることが分かる。日常生活でも、運動をする習慣をつけていく必要がある。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○「運動が好き」と回答する子の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・男子 53.7%（全国 72.7%） ・女子 41.0%（全国 54.1%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」 <ul style="list-style-type: none"> ・男子 484.4分（全国 524.1分） ・女子 437.2分（全国 315.8分） 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国・札幌市の平均と比較すると、男女共に運動が好きな児童が少ない。一週間の総運動量に関しても、大きく下回っている。運動の楽しさや喜びを感じられるような工夫や環境づくりが効果的と考えられる。

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

具体的な取組

- 主体的に学ぶ態度を育成する課題探究的な体育・保健体育の授業の充実を図る。
- 家庭科の食生活に関する授業や保健の授業の中で栄養教諭や養護教諭との連携を図る。
- ICTの活用により、自分の課題点を見つけたり、課題点について友だちと話し合ったりするなど、ICTを活用した授業の充実を図る。
- 学級や学年だけでなく、異学年ともつながりながら、認め合ったり高めあったりできるように、スポーツフェスを2学年で開催する。

- 1年間に5回の縄跳び週間を設け、時期を分散させて行う。また、全校統一の「なわとび検定カード」を活用することで、学年をまたいだ6年間で目標を到達できるようにし、楽しく縄跳びに取り組ませる。
- 体育週間を設け、鉄棒、マット、跳び箱を使った運動の機会を保障する。
- 全校でスポーツテストを行い、実態把握と学校の傾向の分析をする。また、自分の成長を実感して運動意欲を高められるように、結果をキャリアパスポートに書きためていく。
- 竹馬、一輪車、ボール投げ、幅跳びコーナー等を設け、休み時間における運動機会の場を創出する。
- 委員会活動と連携した、自治的な運動・健康の取組の推進

- 望ましい食習慣や生活習慣について、給食だよりや保健だより、学校HPなどで発信する。
- 栄養教諭や養護教諭の専門性を生かしながら、児童の実態に応じた食指導、発達段階に合った性指導や健康指導等を充実させる。
- 委員会活動と連携した、自治的な運動・健康への取組の推進

家庭・地域との連携・協働

保健だより、給食だより、学校HP等を通じて、食習慣や生活習慣の課題や大切さを発信していく。体育科の学習等に外部講師を招き、指導補助を依頼する。